

審判用紙

大会名	プロ No.	女子	男子	混合	区分	m
自由形	背泳ぎ	平泳ぎ	バタフライ	個人メドレー	フリーリレー	メドレーリレー

予選	タイム決勝	スイムオフ	組	レーン	氏名	所属
B決勝	準決勝	決勝				

種別	SR	✓	違反の行為	種別	SR	✓	違反の行為		
出発	2.3.2		スタートを遅らせた	バタフライ	8.1		うつぶせではなかった（折り返し中を除く）		
	4.4		出発合図の前にスタートの動作を開始した		8.2		両腕	後方へ同時に水中をかかなかった 同時に水面上を前方に運ばなかった	
自由形	5.1		メドレー競技の自由形で、背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライで泳いだ		8.3		両脚・両足	動作が同時でなかった 平泳ぎの足の蹴りを行った	
	5.2		折り返しおよびゴールの際に、体の一部が壁に触れなかった		8.4		折り返し ゴールで	手が同時にタッチしなかった 手が離れた状態でタッチしなかった	
	5.3		折り返しの間、スタートおよび折り返し後の 15mを除いて、体が完全に水没した		8.5		スタートおよび折り返し後の 15m以内に、頭の一部が水面上に出なかった スタートおよび折り返し後の 15mを除いて、体が完全に水没した		
		スタートおよび折り返し後の 15m以内に、頭の一部が水面上に出なかった	9.1			個人メドレー	定められた順序で泳がなかった それぞれの種目を、定められた距離の 4 分の 1 を超えて泳いだ		
背泳ぎ	6.1		排水溝・排水溝の縁・タッチ板の縁に、足を掛けてスタートした	メドレー競技	9.2			自由形でうつぶせになる前に、足の蹴りや手のかきを行った	
			バックストロークレグを使用した際、両足共、少なくとも一本の指がタッチ板に触れていなかった。		9.3		メドレーリレー	定められた順序で泳がなかった それぞれの種目を、定められた距離の 4 分の 1 を超えて泳いだ	
	6.2		うつぶせになった（折り返し中を除く）		9.4			それぞれの種目の泳法規則に従って	泳がなかった ゴールしなかった
	6.3		スタートおよび折り返し後の 15m、頭がゴール直前の 5 m を過ぎた後を除いて、体が完全に水没した		競技	10.2			定められた全距離を泳がなかった
		6.4		スタートおよび折り返し後の 15m以内に、頭の一部が水面上に出なかった		10.4		スタートしたレーンを維持しなかった	
				折り返しおよびゴールの際に、体の一部が壁に触れなかった		10.5		折り返しを壁で行わなかった	
	6.5		折り返しを始める際に、手を複数回かいた	10.6			自由形以外の泳法で、プールの底に立った 自由形でプールの底を歩いた		
6.6			折り返しの際、うつぶせになった後、速やかに手のかきを行わなかった	10.7			レーンロープを引っ張った		
			壁から離れた際に、うつぶせだった	10.8			他の泳者を妨害した		
平泳ぎ	7.1		スタートおよび折り返し後、最初の一蹴りの前にバタフライの蹴りを複数回行った	10.9			自分の出場しない競技で入水した		
			スタートおよび折り返し後、二かき目で両腕が内側に向かう前に、頭が水面上に出なかった	10.10			リレーチームが、4 名で構成されていなかった		
	7.2		うつぶせではなかった（折り返し中を除く）	10.12			引き継ぎ違反		
		7.3		泳ぎのサイクルが、一かきと一蹴りの組み合わせとこの順になっていなかった		10.13		泳いでいないメンバーが、競技終了前に入水した	
				腕のかき		同時にでなかった	10.14		リレーオーダーどおりに泳がなかった
	7.4		両腕が胸から同時に前方に出なかった	10.15			速やかな退水をせず、妨げになった		
		7.5		肘が水面より出た（折り返し時およびゴール前の最後の一かきを除く）		10.17		ペースメーカーとなる	装置を使用した 行為を受けた
				ヒップラインより後ろまでかいた（スタート後および折り返し後の一かきを除く）			15.2		速力・浮力・耐久力を助ける
	7.6		泳ぎのサイクルの間に、頭が水面上に出なかった	その他				承認を得ていないテープを体につけて泳いだ	
			脚の動作			同時にでなかった	違反の内容と場所（発生時刻	時	分）
7.7			足			外側に向かわなかった			
			交互に動いていた						
7.8			下方へのバタフライの蹴りを行った						
	7.9		折り返し	手が同時にタッチしなかった					
		ゴールで	手が離れた状態でタッチしなかった						
7.10									

※SR: Swimming Rules

※ 違反があった場合は、✓欄に「✓」印を記入する。違反の内容と場所欄に、違反行為の詳細を記入すること。

場所については、「(スタート時より)」○○m地点、○○mの折り返し」等と記入する。

役職			審判長	順序	通告	コンピュータ	記録
確認者				チェック			

時分

時分